

国民参加の森林づくりの協定の公表

国民参加の森林づくり（多様な活動の森）について、協定を更新したので、公表します。

平成27年3月24日

上越森林管理署長 山崎 政美

1 「国民参加の森林づくり（多様な活動の森）」の概要

（1）趣旨

森林管理署においては、その多様で豊かな自然環境、森林・林業に関する知識と経験等を活用し、森林とのふれあいや国民参加の森林づくり等、国民の要請に応えるため、フィールドの提供や技術支援を行うなど、国民による国有林野の積極的な利用を推進してきたところです。

最近では、企業の社会的責任（CSR）活動や広範な区域における長期間活動が希望されるなど、国民のニーズも多様化・高度化してきています。

このため、それらの新たなニーズに対応し、多様な森林整備や保全活動の要請に対応するよう、協定締結による「国民参加の森林づくり」を推進しています。

この協定締結による「国民参加の森林づくり」の活動には、「ふれあいの森」、「社会貢献の森」、「遊々の森」、「多様な活動の森」など6種類の活動があります。

（2）多様な活動の森

森林の保全を目的とした美化活動、自然観察、森林パトロール等の活動を行うことができます。

2 協定の名称

「関田トレイル」（多様な活動の森）の整備・維持等活動に関する協定

3 協定の目的

新潟・長野両県にまたがる関田山脈において、自然豊かな里山のトレッキングや地元の人達との交流、また、地域の歴史、文化等の再認識等を通じて、環境・健康に対する意識の高揚、山村地域の連携・活性化等に寄与することを目的として、「信越トレイル」が整備され、このうち国有林部分については、「関田トレイル」として設定し、整備・維持管理されています。

この協定は、協定締結者の役割を明らかにするとともに、協定締結者の連携及び

協力により、本協定に基づく多様な活動の森における整備・維持管理・利用の活動が円滑に実施されることを目的としています。

4 位置

関田山脈における北信森林管理署管内の大神楽国有林外と、上越森林管理署管内の深山国有林外が接する稜線を主体とした大平峰及び平丸峠から天水山間のトレッキングコースで、延長は直線距離で約30キロメートルです。

5 活動内容

ボランティア活動等により、「関田トレイル」の整備・維持管理に必要な諸活動（トレッキングコース、標識・看板等の整備及び維持管理）

6 協定締結者

(甲) 中部森林管理局 北信森林管理署長 清水 信之

(乙) 関東森林管理局 上越森林管理署長 山崎 政美

(丙) 飯山市照岡1571-15 NPO法人「信越トレイルクラブ」

代表理事 小山 邦武

7 協定期間

平成27年4月1日～平成32年3月31日